

大東市監告示第6号

定期監査結果に対する措置の状況について

平成25年度第1回定期監査の結果に対し、各執行機関が講じた措置について通知があったので、地方自治法第199条第12項の規定により公表します。

平成26年3月28日

大東市監査委員 乗 本 良 一

大東市監査委員 岩 渕 弘

【担当 監査委員事務局】

平成25年度第1回 定期監査結果に対する措置の状況

◆総務部（総務課、人事課、契約課、課税課、納税課、市民課）

【総務課】

監査委員 指摘事項	
	<p>建物総合損害共済保険について</p> <p>市は所有する建物について、火災や損壊等の被害による損害の発生に備えるため建物総合損害共済保険に加入しているところである。しかしながら、その対象物件の内容を確認したところ、平成21年4月に民営化によって売却済である寺川保育所と津の辺保育所の建物が含まれていた。保険対象物件の把握については、平成14年度に当職から正確な把握を行うよう指摘しており、三たびこのようなことが起きないように万全を尽くされたい。</p>
総務課 措置状況	
①	<p>建物総合損害共済保険については、健全な行政経営を継続するためには不可欠の制度であり、施設の未登録状態が万一の際には業務遂行の大きな妨げになる事は明らかです。また、逆に今回のような未抹消の状態についても、共済保険の掛け金には公金を費やしている事実を重く受け止め、必要のない公金を払うことが2度とないよう常に念頭に置いて職務を行わねばなりません。</p> <p>この度、本来は当然に行われるべき確認を行うことができなかった事につきましては深く反省をするとともに、課員一人ひとりが再度業務の重大性を再認識する機会を設けるとともに、他の職員によるチェック体制が正常に機能するよう、努めて参ります。</p>

監査委員 指摘事項

普通財産の無償貸付について

公共的団体が公益事業を行うために市の土地建物を使用する場合、市は法令に基づき使用料を無償または減額して貸付けることができる。市は現在、障害福祉サービス事業を行う3つの事業所と地域事業を行う1つの団体に対して、土地・建物を無償で貸付けているところである。しかしながら、障害福祉サービス事業所への貸付については、障害者自立支援法の施行により財源措置が充実され、他の事業所では無償貸付を受けることなく自立した運営が行われている。また貸付当初に公益性の大きな理由とされた医療ケアの実施についても、現在では他の施設でも実施されていることから、特別な公益と捉えることが困難になっている。このように社会情勢や福祉をめぐる環境の変化によって、貸付当初に大きな公益性があった事業でも、現在では無償とするほどの公益に至らない場合がある。現在行っている無償貸付の事例について、減額貸付への変更も視野に入れて公益性の再検証を行われたい。

総務課 措置状況

②

現在のご指摘のとおり他の事業所でも実施されている事業であります。そもそも貸付対象につきましては、

1. 民間団体の障害者授産施設が大東市内に存在せず、必要とされた。
2. 北条障害者生活支援センターの廃止に伴う利用者の受け入れ先が必要であった。
3. 医療的ケアを必要とする重度障害者を受け入れる施設が必要であった。
4. 北条青少年教育センター分館廃止決定の際、コミュニティ施設事業を行政の負担無く、引き継ぐ必要があった。
5. 放課後児童クラブでは預かれない障害児の受け入れ先として市が誘致した。

など市が求めた施策に対して賛同し、先駆的役割を担い、協力を惜しまず尽力してきた事業者です。とはいえ、時代や環境の変化に伴い他の事業者が同じ事業を展開する中で、各事業所に経営状況の報告を求め、収支の把握に努めることにしております。今後につきましては、

1. 行政の公平性が維持できているか
2. 事業者が無償貸付によって過大な利潤を生んでいないか
3. 市の施策との方向性・位置付けが合致しているか

等を考慮・吟味した上で、契約更新時等に、関係各課と連携し、有償による貸付も視野に入れ条件の見直しに努めてまいります。

監査委員 指摘事項

決算審査時等の指摘済事項について

「ガソリン単価の見直し」「土地貸付料の納期内収納」「不動産貸付にかかる未契約状態の解消」「旧野崎第二水防倉庫跡地の処分」「職員駐車場への公金投入の解消」「自動販売機設置にかかる行政財産目的外使用の見直し」の6項目は、決算審査時等これまで機会あるごとに指摘してきた事項であるが、その後の市の検討や進捗状況はゆるやかである。

いずれの事項も市民感覚から大きくかけ離れた内容であり、早急且つ確実な見直しをお願いしたい。

総務課 措置状況

③

ガソリンについては、昨年組合との交渉を再三重ねたが合意点を見い出せず、今年度末に指名入札を準備しておりました。しかしながら、組合に加盟していない唯一の登録業者の廃業が決まり、来年度当初の石油調達について再考を余儀なくされた所です。市内全体に点在する消防団の消防車両をはじめ、特定の給油場所しか使えないことにより機動性や利便性が損なわれる事への反発も予想されますが、来年度後半の入札に向け、関係各課と調整を進めているところです。

土地貸付料については相手方と交渉し、納期内納付に努めております。不動産貸付の未契約状況については契約書締結を完了し、貸付料についても全額年度内に納付する旨の合意を得ております。

水防跡地については、入札の受付を開始しており、3月25日に開札する予定となっております。

職員駐車場については、公用車や市民会館来館者の駐車場としても利用しているが、土地の賃借料と職員からの使用料の収支不均衡を是正するため、近隣市場価格を参考に駐車場代金の値上げを検討し、現在人事課と調整しているところです。

本庁舎内の自動販売機設置の入札については、相当に昔からの経過が有る話であるので、入札する事による副次的な不利益も考えられるため、その後の対応や可能性を踏まえた上で、方法を模索しているところです。

【人事課】

監査委員 指摘事項	
	<p>職員健康診断業務の委託契約について</p> <p>労働安全衛生法により、職員に対する定期健康診断の実施が市に義務付けられており、平成25年度は865万9千円の予定で健康診断業務が民間事業者へ委託されている。しかしながらこの業務委託にあたっては、見積り合わせは行われるものの、随意契約によって長年同一事業者へ委託する状態が続いている。入札方式の導入が難しい分野ではあるが、時代が変化し総合評価方式や競争入札を導入する自治体も増えてきている。前例に拘束されることなく、より透明で、合理的な契約実務となるよう事務の改善に努められたい。</p>
人事課 措置状況	
①	<p>職員の定期健康診断の委託につきましては、その契約内容が適切に履行されたかどうか、保健・医療の観点から検証し、評価することが大切であると認識しております。</p> <p>こうしたことから、信用と実績を有する委託先を選定するため、公益社団法人全国労働衛生団体連合会が主催する労働衛生サービス機能評価事業の基準を満たしている機関と契約しているところでございます。</p> <p>近年、使用者の責務としまして、労働安全衛生法等で求められる労働者の（職員の）健康管理や疾病予防を充実させることが高まりを見せております。</p> <p>現在、本市では、定期健康診断時におきまして、同法に基づく定期健康診断等の項目だけでなく、血液オプション検査やメンタルヘルス対策等の電話サポート事業にも取り組んでいるところでございます。</p> <p>業務委託の選定にあたりましては、法定項目だけでなく、このような機能も加えながら対応していきたいと考えております。</p> <p>今後、このような取組みについて受諾可能な事業者がないか常に調査してまいります。</p>

【契約課】

監査委員 指摘事項	
①	文書事務について 市は平成9年に情報公開条例と個人情報保護条例を施行されて以来、文書管理は市民の知る権利を保障する基礎として、市にとって重要な事務となっている。しかし契約課にあつては、收受した文書のうち1年保存の文書について文書番号の付番と文書整理簿への記載を行わないという文書取扱規程から大きく逸脱した運用が行われていた。 文書取扱規程を遵守して適正な管理を行われたい。
	契約課 措置状況
	課内会議をしたうえで文書取扱規程13条に基づいた文書管理に改善いたしました。 なお、指摘を受けるまでの文書につきましても、適正な文書管理へ取り組んでいるところであります。

【課税課】

①	監査委員 指摘事項
	近畿都市税務協議会の平成26年度予算案に対する市の意見について 今回、平成26年度の予算案について近畿都市税務協議会から市に、意見照会があった。市は提示された複数の予算案のうち剰余金を圧縮する案ではなく、剰余金が発生する案を選択して回答されていた。これは当職が日頃から各種団体に剰余金、繰越金等が存在することを指摘し、見直しを求めている趣旨に反する行動である。 市は、基本的な姿勢を職員に徹底されたい。
	課税課 措置状況
	今後につきましては、現状の予算規模・負担金額で慢心することなく、事務局に事務の効率化をはかり削減できるところがないか意識を改めて、適正で効率的な運営を行うよう働きかけていきたいと考えます。
②	監査委員 指摘事項
	軽自動車税廃車申告書兼標識返納書について 排気量125cc以下の原動機付自転車を廃車する場合、市の窓口に廃車申告書兼標識返納書を提出する必要があるが、記入内容が不十分な申告書が多数みられた。中でも盗難届に関する項目は、市が標識の弁償金を徴収するかどうかを判断する上で重要な項目であり、欠かすことなく正確に記入するよう指導されたい。
	課税課 措置状況
	監査指摘後、申告書の取り扱いについて事務研修を行いました。 今後につきましては廃車申告書兼標識返納書の必要記入事項について、特に盗難届出に関する項目について届出者に聴取する等記載漏れがないように周知を行いました。また、盗難により弁償金を徴収しない場合は、原則、盗難届の受理書等の確認を行うように事務の取り扱いを変更しました。

【納税課】

①	監査委員 指摘事項
	市税滞納金の減免について 納期内納税者と滞納者との公平を図るため延滞金制度があり、延滞金の減免事務について確認を行った。ほぼ全てのケースで適正妥当な処理が行われていたが、一部の事例で市税延滞金減免取扱い要綱を拡大した理解が見られた。 要綱規定の再整備も視野に入れて、制度運用について万全を期されたい。
	納税課 措置状況
	延滞金の減免の処理に当たっては、市税延滞金減免取扱い要綱を遵守し、より一層適正な制度の運用に努めてまいります。
②	監査委員 指摘事項
	取扱現金の指定金融機関への納入について 税の収納については、窓口あるいは訪問先において直接現金を収納する場合があるが、市の会計規則では、これらの現金については即日またはその翌日までに市の指定金融機関に払い込まなければならないと定められている。しかしながら、一部の現金について受領から指定金融機関払込まで4営業日を要した事例があった。 会計規則を遵守して、公金の管理に万全を期されたい。
	納税課 措置状況
	収納金の取扱いについて、今後このようなミスが生じないように、毎日の業務後に確認作業を行うなど、チェック体制を強化しております。

【市民課】

①	監査委員 指摘事項
	<p>大阪府戸籍住民基本台帳事務協議会河内支会の剰余金について</p> <p>市は、主に職員への研修を目的として北河内七市で大阪府戸籍住民基本台帳事務協議会河内支会を構成し、年額3万6千円の負担金を支出している。当該団体の決算状況を確認したところ、平成24年度末で55万3千円の剰余金を確認された。これは団体にとって約2年間の負担金収入に相当する額であり、市が新たに負担金を支出する必要性に疑義を生じるものである。</p> <p>構成市と協議の上、負担金の徴収を一時停止するなど効果的な対策を行われない。</p>
	市民課 措置状況
	<p>本協議会については、今後も戸籍、住民基本台帳及び特別永住事務に関する調査研究、研究会や研修会の充実を図るとともに、負担金につきましては、徴収の一時停止も含め提案を行い、協議を行っております。</p>
②	監査委員 指摘事項
	<p>臨時運行許可書、プレートについて</p> <p>自動車を試運転する場合や、検査を受けるために車両を運輸支局等に回送する場合など、市は臨時運行許可書を発行するとともに臨時運行許可番号標（プレート）を交付している。市の許可書ならびにプレートは許可期間満了後5日以内に返却しなければならないが、平成24年度実績で469件中14件が、平成25年度上半期においても258件中9件が返納されていない。</p> <p>未返納のプレートは犯罪に利用されることもあり、今後は返納督促に一層の努力を行われない。</p>
	市民課 措置状況
	<p>プレートの未返納者については、その後も現地調査を行い、6件を回収いたしました。今後返納がない事案につきましては、無効の旨を関係機関に通知し、不正使用の防止を図ってまいります。</p> <p>今後とも、速やかな執行に努めてまいります。</p>

◆選挙管理委員会事務局

監査委員 指摘事項

近畿都市選挙管理委員会連合会の剰余金について

選挙管理委員会は近畿都市選挙管理委員会連合会に加入し、市はこれにかかる年額1万6千円の負担金を支出している。当該団体の決算状況を確認したところ、平成24年度末で336万5千円の剰余金を確認された。これは団体にとって約2年間の負担金収入に相当する額であり、市が新たに負担金を支出しなければならない必要性に疑義を生じるものである。

既に平成24年度から負担金の減額を内容とする見直しを実施済とのことであるが、繰越金は減少せずむしろ増加しており、新たに効果的な見直し策を実施するよう申し入れをされたい。

選挙管理委員会事務局 措置状況

近畿都市選挙管理委員会連合会の繰越金が多いという指摘につきましては、平成26年2月6日に四條畷市で開催された東部ブロック選挙管理委員会局長会で提案しました。他市からもすでに繰越金減額の要請があり、近畿連監事市から検討事項として申し入れして頂ける予定です。

また、平成28年度に規模の大きな近畿都市選挙管理委員会連合会の大会が予定されており、検討結果としてはその後になると思われませんが、今後も要望してまいります。